

北太平洋アカイカ資源調査 — 抄 録 —

黄金崎 栄 一*

発 表 誌 名 JARQ(Japan Agricultural Research Quarterly) Vol. 29 No. 1 (January 1995)
タ イ ト ル Distribution of Spawning Grounds of Flying Squid,
Ommastrephes bartrami, in the North Pacific Ocean
著 者 Shigeo HAYASE

抄 録 (調査の背景と目的)

国連決議により1992年12月をもって公海イカ流網漁業が停止されたが、北太平洋のアカイカ資源利用の社会的ニーズは高い。アカイカを今後とも有効に利用していくためには生物学的特性に基づく資源管理が必要とされている。しかしアカイカの生活史には未解明の部分が多く、特に産卵に関する情報が不足している。過去の調査から、小笠原諸島及びハワイ諸島近海では、1～5月に成熟親イカ及び稚仔の採集がなされているが、それ以外の海域での産卵調査の報告例はない。今回4月～5月に小笠原諸島とハワイ諸島との間の海域で調査を行い、産卵域の地理的広がりを確認することを目的として、試験船「開運丸」(船長、高井英和ほか18名、トン数229.56トン)で調査を実施した。

1. 調 査 海 域

北緯25度及び北緯29度の線上を、東経143度～東経176度の間で経度1度30分ごとに各46点で実施した。

2. 調査内容及び方法

イ) 海 洋 観 測

C T Dにより水深0～500mの水温及び塩分を測定。

ロ) ボンゴネット(直径70cm、目合335 μ m及び800 μ m)及び丸稚ネット(口径2m)による表層の水平曳き調査。

ハ) イカ釣り調査

機械釣りと手釣りによる漁獲試験。

* 現青森県水産増殖センター(青森県栽培漁業公社派遣)